

会報

[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2002年 7月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

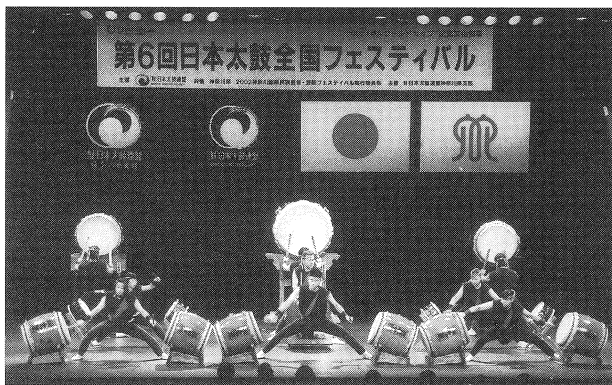
財団法人日本太鼓連盟 副会長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL: <http://www.nippon-taiko.or.jp> Email: info@nippon-taiko.or.jp

太鼓フェスティバル、ワールドカップ優勝戦前日に開催

～満員の観客に、選ばれた伝統・創作太鼓12チームが個性的な演奏を披露～



(相州海老名東柏太鼓)

2002FIFAワールドカップ記念文化催事として第6回日本太鼓全国フェスティバルが、6月29日に神奈川県横浜市かながわドームシアターにて、満席となる1,100人の観客を集めて盛大に開催されました。

今回は、(財)日本太鼓連盟主催、神奈川県共催、神奈川県支部が主管となり、文化庁のほか、地元の横浜市、横浜市教育委員会の後援をいただき、「2002FIFAワールドカップ」の優勝戦前日に開催されました。

当日は雨模様の中にもかかわらず、観客の出足も好調で、早くから多くの観客で会場は埋まり、なかには当日券を求めて朝9時から並ぶ方もいるほどでした。午後3時に観客が見守るなか、主催者側を代表して当財団の津田会長、共催者代表神奈川県知事岡崎氏より挨拶があり、続いて横浜市助役本田氏よりご祝辞をいただき、いよいよ開演となりました。

全国から選抜された伝統・創作太鼓10チーム、そして地元神奈川県から2チームの総勢119名が一同に集い、1チーム7分という短い時間をフルに活用し、それぞれの地域の特色と工夫を凝らした個性豊かな演奏を披露しました。出演者たちの白熱したバチさばきに、観客が思わず声援を送る場面もあり、各チームの演奏が終了するたびに感動の拍手が会場を

埋め尽くしました。

また、観客の中には外国人の姿も数多く見られ、日本太鼓の人気の高さを再認識させられました。

プログラムも順調に進み、出場12団体のラストを飾った手取亢龍太鼓保存会による、客席を回りながらの石川県伝統の虫送り太鼓は観客を圧倒していました。

フィナーレは、当財団が新たに作成した半被を着用した財団役員並びに出演者全員が舞台上上がり、島田神奈川県支部長、落合前支部長の手締めで飾りました。公演終了後、観客から「感動した」「すごかった」との声が聞かれ、本大会の盛況振りは、その言葉に集約されていたものと実感しております。

また、観客の一人から次のような言葉も聞かれました。「私も今まで多くの演奏会を見ているが、このように出演者と観客が一緒になって手締めを行うことは素晴らしいことであり、今までに経験したことがない。出演者が観客を送り太鼓と共に見送ってくれることも我々に一体感をもたらせてくれる。主催者に感謝を言いたい。」

このような声が聞かれたのも、神奈川県役職員の皆様、神奈川県支部の会員の皆様、そして出演団体をはじめとする関係各位のご協力のお陰と感謝いたしております。



(御諏訪太鼓保存会)

第6回日本太鼓全国フェスティバルを終えて

(財)日本太鼓連盟神奈川県支部

支部長 島田 健次

垂れ込めた梅雨雲をはね返すようなダイナミックな日本太鼓の響きが横浜市のかながわドームシアターにこだました2002年6月29日。

(財)日本太鼓連盟主催による第6回日本太鼓全国フェスティバルが「2002FIFAワールドカップ記念文化催事」として優勝戦前日に開催されるということは、神奈川県支部として初めての横浜開催でもあり、少なからずプレッシャーを感じたことは否めないところでした。

しかしながら支部関係者、スタッフのチームプレーに支えられスムーズな会場運営が出来たことは感謝に耐えません。

総括としては(財)日本太鼓連盟の適切な指示を仰ぎながら、すべてがプログラム通りに運ばれていきました。早くから会場前に並んで数時間も開場を待っておられたお客様をはじめ、超満員のお客様による万雷の拍手に包まれてのフィナーレは、何にもまさる感激でした。関係者各位、神奈川県、更にはこのフェスティバルにご出演いただきました全国精鋭の太鼓団体の皆様に心よりお礼を申し上げる次第です。

終演後、会場出口での送り太鼓の演奏に、お客様の熱気はいつまでも冷めやらず「よかったぞ」の掛け声は大きな感動でした。

終わりにになりますが、フェスティバル関係者すべての皆様方に改めて深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



(フィナーレ)

〈出演団体〉

- ・鼓粋(神奈川県)
- ・相州海老名東柏太鼓(神奈川県)
- ・八丈太鼓六人会(東京都)
- ・蘭導(秋田県)
- ・御陣乗太鼓保存会(石川県)
- ・富岳太鼓(静岡県)
- ・大江戸助六太鼓(東京都)
- ・高野右吉と秩父社中(埼玉県)
- ・御諏訪太鼓保存会(長野県)
- ・豊の国ゆふいん源流太鼓(大分県)
- ・石見神代神楽上府社中(島根県)
- ・手取亢龍太鼓保存会(石川県)

以上出演順12団体

第6回日本太鼓全国フェスティバル ビデオ販売のお知らせ

ビデオ購入希望者の方は(財)日本太鼓連盟
神奈川県支部事務局までお問い合わせ下さい。

神奈川県支部事務局 小澤 勉

Tel/Fax. 0463-34-5512

E-mail. ozawa@kanagawa-taiko.com

金額 4,000円

第15回日本太鼓全国講習会(千葉県)の案内

期 日 2002年11月23日(土)・24日(日)

主 催 財団法人日本太鼓連盟

主 管 財団法人日本太鼓連盟千葉県支部

会 場 のさかアリーナ(千葉県野栄町)

専門講座

鉦子はね太鼓講座(単式複打)……………宮崎義政氏(千葉県)

助六太鼓講座(単式単打)……………今泉 豊氏(東京都)

秩父屋台囃子講座(複式単打)……………高橋 利雄氏(埼玉県)

基本講座

3級基本講座……………松枝 明美氏(長野県)

4級基本講座……………安江 信寿氏(石川県)

5級基本講座……………古屋 邦夫氏(長野県)
鈴木 孝喜氏(秋田県)

受講料 大人10,000円(会員9,000円)

小人 9,000円(会員4,500円)

参加費 宿泊する場合 一律12,000円

宿泊・食事4食・記念写真等

宿泊しない場合 一律4,000円

食事2食・記念写真等

申込先 (財)日本太鼓連盟千葉県支部

事務局長 越川 昭一

Tel.0479-22-7269

第6回日本太鼓チャリティコンサートを開催

～コンサート史上最高の募金額を寄贈～

財団法人日本太鼓連盟主催、財団法人ケアジャパン共催による第6回日本太鼓チャリティコンサートが5月31日東京都港区草月ホールで行われました。

日本財団の助成事業であります日本太鼓チャリティコンサートは今年で6回目となり、今回は、中国、タイ、カンボディアなどの国々で広く開発支援を展開している財団法人ケアジャパン（国際協力NGO＝非政府組織）の活動を支援するために実施されました。

当日は、日本財団笹川理事長をはじめ、各国の在日大使、政財界他様々な分野で活躍しておられる300名以上の方々にご出席いただきました。

コンサートは、主催者から塩見副会長、共催者から財団法人ケアジャパン服部理事長の挨拶で始まりました。当財団加盟の810団体から選ばれた全国各地の伝統太鼓・創作太鼓を代表する6チームによるものでした。

まず、神奈川県「鼓粋」の創作太鼓で始まり、神官の伝統的な衣装を身にまとった島根県「石州浜田太鼓団」の優雅な演奏。第4回総務大臣杯日本太鼓ジュニアコンクールでは平均年齢10歳ながら、32都道府県（出場246チーム、出場3,046名）のトップに輝き、生き生きとした表情・舞台上での表現力が印象的だった鹿児島県「山川ツマベニ少年太鼓」の自信溢れる演奏。徳川時代から受け継ぐ約6mの大獅子舞と太鼓の共演を見せた石川県「のと半島鹿波獅子太鼓」。愛知県「尾張新次郎太鼓保存会」は奏者がバチを、笛の音にあわせ左手で回転させたり、飛ばしたりして打ち分けたりと、器用なバチさばきを披露しました。幼少の頃から練習していないと関節が固くなるため、このバチさばきはできないということでした。最後は、岩手県陸前高田市のけんか七夕祭りで打たれる太鼓をアレンジした「気仙町けんか七夕太鼓保存会」の演奏で、祭りの威勢の良い雰囲気を会場に伝えました。なお、余談になりますが、本来、演奏中に酒飛沫をかける場面があるのですが、舞台の使用上

の関係で、急遽、水に変えていただきました。

どの演奏に対しても、観客席から盛大な拍手が起こり、お客様、特に外国人の方からは、大変な好評を博しました。

なお、このコンサート会場には、財団法人ケアジャパンの活動内容を紹介するパネルが展示され、多くの方が熱心に見入っていました。

お客様、演奏者、関係者皆様のご協力により、今回のチャリティコンサートでは、コンサート史上最高の募金額701,550円を、財団法人ケアジャパンに寄贈することができ、贈呈先の関係者から大変喜ばれました。

また、同財団の服部理事長から、当財団に対しまして感謝状が贈呈されております。皆様のご協力に感謝いたします。

＜出演団体＞

- ・ 鼓粋（神奈川県）
- ・ 石州浜田太鼓団（島根県）
- ・ 山川ツマベニ少年太鼓（鹿児島県）
- 第4回日本太鼓ジュニアコンクール優勝団体
- ・ のと半島鹿波獅子太鼓（石川県）
- ・ 尾張新次郎太鼓保存会（愛知県）
- ・ 気仙町けんか七夕太鼓保存会（岩手県）

以上出演順6団体



（満員の客席）

第4回日本太鼓全国障害者大会のお知らせ

- ・ 日 時：2002年9月22日（土）
- ・ 場 所：恵那文化センター（岐阜県恵那市） Tel.0573-25-5121
- ・ 主 催：財団法人日本太鼓連盟
- ・ 主 管：財団法人日本太鼓連盟岐阜県支部、社会福祉法人たんぽぽ福祉会 Tel.0573-26-4356
- ・ 協 力：社会福祉法人富岳会
- ・ 出演団体：富岳太鼓、北龍太鼓、金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム、静岡ハンディキャップ太鼓の会、どんつく（以上静岡県）、恵那のまつり太鼓、ファミリーユニット童鼓、岐阜響太鼓、岐阜県立中濃養護学校和太鼓部（以上岐阜県）、仁寿太鼓（島根県）、糸口太鼓（大分県）、和太鼓鼓粋（大阪府）、豊龍会（新潟県）、桐親和太鼓クラブ（東京都）、風神太鼓（石川県）、佐久ろうあ太鼓、はなだ太鼓（以上長野県）、甲州ろうあ太鼓（山梨県）、龍姫太鼓（兵庫県）、鼓龍会（愛媛県）

以上20団体

各地で講習会を開催 技術認定員が2,500名を突破

～第14回日本太鼓全国講習会（石川）～

～第11回日本太鼓支部講習会（栃木）・第12回日本太鼓支部講習会（長崎）～



（1・2級検定試験風景）

<第14回日本太鼓全国講習会（石川）>

第14回日本太鼓全国講習会が6月22・23日の両日、石川県支部が主管となり石川県松任市グランドホテル松任を中心に行われました。講習会には地元石川県をはじめ、全国30都道府県から245名が参加しました。

開講式では当財団の塩見副会長、主管団体である石川県支部から飛田支部長が挨拶、引き続き角松任市長より歓迎の言葉がありました。

一流の講師により、2日間にわたって厳しい指導が行われ、受講生たちは、真剣な眼差しで太鼓に向かっていました。

○専門講座

- 三ッ打太鼓講座（講師 島田 将嘉氏）
- ゆふいん源流太鼓講座（講師 長谷川 義氏）
- 大太鼓講座（講師 山内 強嗣氏）

○基本講座

- 3級基本講座（講師 松枝 明美氏）
- 4級基本講座（講師 安江 信寿氏）
- 5級基本講座（講師 古屋 邦夫氏）
（講師 景山 道隆氏）

技術認定員検定の結果は次の通りです。

1級検定	20名受検	13名合格（2名認定）
2級検定	48名受検	39名合格（13名認定）
3級検定	29名受検	23名認定
4級検定	56名受検	56名認定
5級検定	73名受検	73名認定

<第11回日本太鼓支部講習会（栃木）>

第11回日本太鼓支部講習会が栃木県支部の主催により、5月25・26日の両日、栃木県鹿沼市ウェルサンピア栃木において行われました。

講座は、4・5級基本講座、大太鼓講座が設けられ、86名の受講生が参加しました。

○専門講座

- 大太鼓講座（講師 若山 雷門氏）

○基本講座

- 4級基本講座（講師 松枝 明美氏）
- 5級基本講座（講師 古屋 邦夫氏）
（講師 渡辺 洋一氏）

技術認定員検定の結果は次の通りです。

4級検定	25名受検	25名認定
5級検定	48名受検	48名認定

<第12回日本太鼓支部講習会（長崎）>

第12回日本太鼓支部講習会が長崎県支部主催により、6月8・9日の両日、長崎県シーハットおおむらにおいて行われました。

講座は4・5級基本講座、締太鼓講座、笛講座、「九州の響」講座、学校教師に対する特別講座が設けられ210名の受講生が参加しました。

○専門講座

- 締太鼓講座（講師 時勝矢一路氏）
- 笛講座（講師 伴 英将氏）
- 九州の響講座（講師 松元 和敏氏）
- 特別講座（講師 長谷川 義氏）

○基本講座

- 4級基本講座（講師 松枝 明美氏）
- 5級基本講座（講師 古屋 邦夫氏）

技術認定員検定の結果は次の通りです。

4級検定	40名受検	40名認定
5級検定	74名受検	74名認定

2,722名が資格を取得

2002年7月現在の公認指導員・技術認定員数は以下の通りです。

<公認指導員>

特別2名、1級23名、2級61名、3級111名、総数197名

<技術認定員>

1級9名、2級44名、3級207名、
4級526名、5級1,739名、総数2,525名

第13回日本太鼓支部講習会(北海道道東)の案内

期 日：2002年8月10日(土)・11日(日) 会 場：釧路市観光国際交流センター

講 座：5級基本講座

申込先：東北海道太鼓連盟事務局 若松 寛 Tel/Fax.0154-36-3166

日本太鼓と学校教育— ⑩

今年度4月より、中学校の音楽時間において日本太鼓をはじめとする和楽器教育が実施されています。

各地におかれては、学校の太鼓指導に取組まれていることと存じます。

今回は、(財)日本太鼓連盟副会長、御諏訪太鼓保存会宗家である小口大八氏よりお忙しいなか、寄稿いただきましたのでご紹介します。

和楽器太鼓教育に向けて (財)日本太鼓連盟長野県支部 支部長 小口 大八

戦後60年を経て、高度成長の中での繁栄は衣食住足りて、まさに飽食の使い捨て時代を迎えているが、逆にその歪として、毎日のように目を覆うような事件や問題が頻発している。特に青少年の非行や犯罪が驚異的な数字で発生していることは憂慮に絶えない現状であり、各方面より重大な問題として取り上げられていることは周知の事実である。

人間には二つの食糧が必要とされ、その一つには肉体に与えられる食糧、それは「ご飯」であり「パン」である。もう一つは心、魂、精神に対して与えられる栄養、それは、何かしらに趣味を持ち、それを身につけることにより満たされる精神の糧である。

肉体の空腹は耐えられないから、黙っていても誰でも摂取するが、心の空腹は何もせずとも生命に関わる様な事は無いから、ついおろそかにしがちである。その結果、「心や魂」が栄養失調に陥り、前述の通り意味も無く人々を殺傷したり、無軌道な行為に走り、社会に害を及ぼす自己制御のきかない者が現れてくる。

そこで、私は、日本人の心の糧の一つに太鼓があると強く信じ「国民皆打説(こくみんかいだせつ)」を唱えて、一人でも多くの人々が太鼓に触れ、その素晴らしさを心の糧にしてもらうことに願いを込めて、昭和20年代より60年にわたって日本中をかけずり廻り、その技の普及に心血を注いできた。

「太鼓は昔から日本人の心、魂である」と言われ、その発生は、遠く縄文時代の頃(今から5,000年程前)から合図、信号の道具として生活の中に生きてきた。後に信仰の対象ともなって神社、仏閣に供奉付けられ、神仏との対話ができる唯一の楽器、呪具として、今日に息づいている我が国の伝統文化遺産の一つなのである。

そして、昭和26年、御諏訪太鼓によって創案完成された複式打法は、近代太鼓打芸の先駆けとなり、全く新しい独創的な集団太鼓音楽として打奏することが可能となり、音楽的打芸演奏の確立がなされ、僅か50年の歴史の中で国の内外にわたって広く普及し、大きなブームを呼ぶに至ったのである。

さて、この太鼓は、人々の心を奮い立たせ、又逆に気持ちを和やかにすることの出来る、他に類を見ない楽器である。見せて聞かせ、聞かせて見せる、あたかもスポーツと音楽を同時にするという特殊な打芸である。人前で自分の持てる「ちから」の全てを

出し切り、前向きに行動する心身の発揚、そして古代より太鼓は神仏の住まいと考えられている。このため、打奏することは神仏との対話、接点であり、常に真摯、敬虔な心でこれにあたらなければならない。「ふれ愛」、「話し愛」、「助け愛」の三愛精神を身につけ、人間社会生活の基盤となる連帯精神を実践することにより、心身が浄化され、健全な思想が創造されるのである。文部科学省では、こうした太鼓の持つ特殊な力を重視し、今回「中学校学習指導要領」にも取り上げたのである。

このことから、太鼓が人間本来の「生きる原点、心と生命力」を創造育成する重要な要素を持っていることが認められ、大いなる期待が寄せられていることが伺い知れる。

今、精神の歪みや弱さ、不安定を直し、心の空腹を満たし積極果敢、不屈の根性と魂を創り上げることの出来るもの、それは太鼓をおいて他には無いのである。だから、青少年はもとより社会人にとっても太鼓は最も重要な心の糧であり、栄養である。

我々は互いに手を携えて、より多くの人々が太鼓の素晴らしさを会得してもらうため、この普及振興に全力を尽くして当たらなければならないと強く感じるものである。



(子供たちを指導する小口支部長)

次回(20号)は、群馬県支部(上原徳夫支部長)が、8月1日(木)に約100名の先生を集めて開催する群馬県教職員と太鼓実技研修会の模様を掲載する予定です。

理事会・評議員会・代議員会を開催

～第4期理事、監事の改選（任期2002年7月1日～2004年6月30日）～

<評議員会>

第9回評議員会が6月11日に開催され、次の事項が可決されました。

「任期満了に伴う理事・監事の選任について」

第4期理事・監事の選任については、重任となったが、新たに関西地区の充実を図る重要性から兵庫県支部長である児玉利夫氏が就任することとなった。

「2001年度事業報告及び決算について」

「2002年度事業計画及び収支予算の一部変更について」

<理事会>

第10回理事会が6月11日に開催され、次の事項が可決されました。

「役員改正に伴う会長、副会長、常務理事の選任について」

役員改正に伴う会長、副会長、常務理事の選任については、会長津田正氏、副会長は伝統太鼓担当として池田庄作氏、創作太鼓担当として小口大八氏、運営担当として塩見和子氏、また常務理事には小野巽氏がそれぞれ重任となった。

「2001年度事業報告及び決算について」

「2002年度事業計画及び収支予算の一部変更について」

<代議員会>

第5回代議員会が6月29日に開催され、代理出席を含め36名の代議員が出席、次の事項が承認されました。

「2001年度事業報告並びに決算報告について」

「2002年度事業計画並びに収支決算について」

「支部の開設について」

北海道道西支部、鳥取県支部の開設については、8頁を参照。

「2002年度支部及び会員の現状について」

塩見副会長から、「支部が順調に開設しているのに比べ、会員数が増加していない。これは、退会する会員が多いためでもあるが、各支部においても退会理由を把握し、対応することによって支部体制を固めて欲しい。」旨の発言があった。なお、新設の2支部を加え37支部となるが、残る未開設の12府県についても引き続き支部開設に向けて努力していくこととし、各支部の協力を要請した。

「会費納入状況について」

前年度に比べ、未納の支部が減少しているが、本来の会費納入期日である5月末日を厳守して欲しい旨の要請をした。また、未納の3支部、特別会員並びに賛助会員については、早急に納入されたいとの要請をした。

「その他」

事務局より、外部監査について次のとおり説明があった。「所管官庁である文化庁はじめ各省庁の所管団体のうち、資産額100億円以上、または収支決算が10億円以上の公益法人に対して公認会計士等による監査を受けるよう要請があった。当財団は、いずれにも該当していないが、会員に対して公正に業務を行っていることを示すためにも監査を依頼することとした。なお、監査の結果、適正に運営されているとの報告があったが、会計については、各支部会計、県連会計の区分を明確にするよう指摘があった。」



兵庫県支部 児玉利夫支部長を理事に選任

このたび、評議員会において、関西地区の充実を図る重要性から、(財)日本太鼓連盟兵庫県支部支部長児玉利夫氏が新たに理事に選任されました。

支部事業・支部経理の明確化について

外部監査の結果、支部事業並びに支部経理を明確にするため、各支部におかれては、本年度から次のように対応されるようお願いいたします。

1. 支部事業を、財団主催事業（全国フェスティバル、ジュニアコンクール、障害者大会、全国講習会）並びに共催、後援事業（ジュニアコンクール予選、支部講習会、財団助成金交付事業）とする。
2. 支部経理を、上記支部事業に関わる収支並びに財団の年会費及び入会金とする。支部に銀行または郵便口座を支部長（または事務局長）名で設置する。
3. 支部規約及び支部役員構成、支部加盟団体等の資料を整備する。支部の最高議決機関（総会または理事会）を明確にし、開催のうえ議事録等を保管する。
4. 支部帳簿に記帳し、証憑類を保管する。
5. 財団に対し、定められた報告を遅滞なく行う。

● 第16回運営委員会を開催 ●

第16回運営委員会が5月21日に開催され、次の事項が審議、承認されました。

「2001年度事業報告について」

○退会メンバーの対応について

退会理由の内、メンバーの減少による解散が多数あるため、その対応を検討した。結果、退会の理由がチームの解散であって、メンバーが継続を希望する場合には、他団体への移行を推奨することとした。

「2002年度事業実施について」

○日本太鼓助成金交付事業

助成金交付20事業については、前回の運営委員会で18事業を決定したが、鳥根県支部が申請事業を取り止めているため、新規申請6事業に対し3事業を追加承認することとして審議を行った。その結果、下記の通り承認された。

*なお、今後、優先事業であっても、締切期日に間に合わない場合や申請書類が不備の場合には見送ることとした。

○第6回日本太鼓全国フェスティバル

6月29日に神奈川県で開催する第6回日本太鼓全国フェスティバルの実施内容を報告した。また、第7回フェスティバル開催地については、引き続き審議していくこととした。

「支部開設について」

○北海道道西支部開設について

事務局より資料を基に説明を行い、審議の結果、承認されたため会員組織規程に基づき理事会に諮ることとした。

○鳥取県支部開設について

先日、鳥取県太鼓連盟総会に出席した小野委員より資料を基に次のような説明があった。

「鳥取県では財団へ加盟を希望する団体は特別会員からの移行を含め4団体であった。しかしながら、希望団体が増える可能性が高いので、開設の条件となっている5団体となった時点で正式申請を受けることとしたい。」

これについて、検討した結果、承認は委員長へ一任、運営委員には速やかに報告し、承認後は理事会に諮ることとした。

「賛助会員の入会について」

事務局は資料を基に賛助会員として申請のある団体について詳細に説明を行った。検討の結果、同社の太鼓に関する方向性などを確認したうえ、次回の委員会で審議することとした。

「その他」

塩見委員長より、外部監査について次のとおり説明があった。

「所管官庁である文化庁はじめ各省庁の所管団体のうち、資産額100億円以上、または収支決算が10億円以上の公益法人に対して公認会計士等による監査を受けるよう要請があった。当財団は、いずれにも該当していないが、会員に対して公正に業務を行っていることを示すためにも監査を依頼することとした。なお、監査の結果、適正に運営されているとの報告があったが、会計については、各支部会計、県連会計の区分を明確にするよう指摘があった。」

追加日本太鼓助成金交付事業決定のお知らせ

運営委員会において審議の結果、下記の3事業が承認され、決定いたしました。承認された事業には助成金20万円が交付されます。

- (1) 第5回日本太鼓ジュニアコンクール山形県大会兼環日本海和太鼓フェスティバル（山形県支部）
7月28日(日) 大浜海岸特設ステージ（山形県酒田市）
- (2) 群馬県教職員和太鼓実技研修会（群馬県支部）
8月1日(木) 群馬県総合教育センター（群馬県伊勢崎市）
- (3) 第1回合同演奏会（奈良県支部）
10月6日(日) やまと郡山城ホール（奈良県大和郡山市）

各地のたより

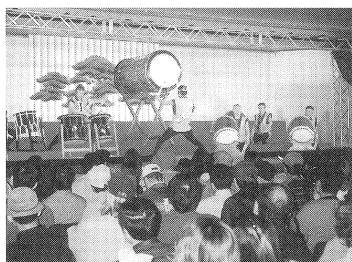
- (1) 2002年8月3日(土) 創作太鼓駒の会 第13回定期演奏会（宮城県小牛田町）
＜主催：創作太鼓駒の会 会場：小牛田町文化会館＞
お問合せ：桂田 一彦 Tel/Fax.0229-32-3732
- (2) 2002年8月10日(土) 第17回霧島高原太鼓まつり（鹿児島県姶良郡）
＜主催：霧島高原まつり実行委員会 会場：みやまコンセール野外音楽堂＞
お問合せ：霧島高原太鼓まつり実行委員会 Tel/Fax.0995-78-2115

日本太鼓が各地で関係団体に協力

第3回競艇名人戦競走

4月9日(水)大阪府住之江競艇場で開催された第3回競艇名人戦競走のオープニングとレースの合間に日本太鼓を演奏しました。

今回は石川県の大場潟乃太鼓が演奏し、力強いバチさばきで、大勢の競艇ファンを釘付けにしていました。演奏終了後、メンバーに観客が握手を求めるなど、大変な人気でした。



(大場潟乃太鼓)

memento mori 北海道2002

6月2日(日)北海道旭川市民文化会館において、日本財団主催による「memento mori 旭川2002」が開催されました。これは、限りある人生を自分らしく、より良く生きるために、各専門家の方々の講演を聞きながら、死を考えるという主旨のものです。今回は記念演奏として北海道のジュニアチーム夕張太鼓保存会「竜花」が出演しました。

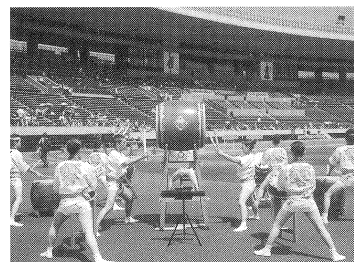


(夕張太鼓保存会「竜花」)

東京シティロードレース2002

5月19日(日)東京シティロードレース実行委員会(構成団体：笹川スポーツ財団、東京新聞等)主催による「東京シティロードレース2002」が国立競技場において開催されました。

今回は東京都・荏原流れ太鼓ひびき会と千葉県・上総ノ国房州太鼓が出演し、約6,000人のランナーへ応援演奏を行いました。



(荏原流れ太鼓ひびき会)

北海道道西・鳥取県に支部が開設

このたび、新たに財団法人日本太鼓連盟の北海道道西支部、鳥取県支部がそれぞれ開設いたしました。これで、35都道府県に37支部が設置されたことになります。

財団法人日本太鼓連盟北海道道西支部

林 富美雄支部長(躍進滝川太鼓保存会会長)



新緑の映える2002年6月11日、北海道道西支部を開設することができました。私共会員一同、常に支部の活性化を図りながら、素晴らしき日本太鼓の伝統芸能を継承し、地域社会の活動、又、各団体の更なる発展を願いつつ活力ある支部運営に取り組む所存であります。今後とも皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<加盟団体 10チーム>

赤平火太鼓保存会、岩見沢百餅太鼓、艶美火舞羅、栗沢太鼓同志会、長沼百年太鼓保存会、躍進滝川太鼓保存会、ほろむい太鼓同好会、南町わらべ太鼓、夕張太鼓保存会「竜花」、夕張南部幌南太鼓獅子舞保存会

財団法人日本太鼓連盟鳥取県支部

福田 武規支部長(倉吉打吹太鼓振興会会長)



和太鼓の和は心の和であり、人の和だと思います。人と人との交流を軸に技術の向上と地域に密着した活動をしています。この太鼓の響きで、人創り、町創り、夢創りが基本です。

人情と思いやりの仲間が沢山います。

本年は鳥取県で国民文化祭が開催されます。感謝とおもてなしの心でお待ちしております。そして、(財)日本太鼓連盟に加盟させて頂き、知恵と勇気をお借りし、夢と感動ある太鼓を目指し、挑戦したいと思います。よろしくお願い申し上げます。

<加盟団体 6チーム>

米子がいな太鼓、倉吉打吹太鼓振興会、逢鷲太鼓連、岸本風神太鼓振興会、八東平成太鼓、名和長年太鼓保存会